

3-13 その他スポーツ（圏域：全市域）

3-13-1 施設再編の方針

対象施設
弓道場・アーチェリー場、実相寺多目的グラウンド、実相寺サッカー競技場、公園テニスコート、セーリング艇庫、市民球場、青山プール、野口原総合運動場、実相寺球場、ヨット艇庫、温水プール、実相寺パークゴルフ場
施設再編の方針
<ul style="list-style-type: none">➤ 弓道場・アーチェリー場については、概ね利用者が固定されているため、近隣市町村の愛好者など利用者の拡大を図りながら、適切な保全のもと、現状のまま維持・存続していきます。➤ 実相寺多目的グラウンドなど、スポーツ観光推進の観点から、民間施設で代替できない施設は現状のまま維持するとともに、運用面も含めて機能の充実を図ります。実相寺中央公園における駐車場不足の問題についてもあわせて検討します。➤ 老朽化が進む施設については、施設の安全性確保や機能維持のため、適切な改修を随時実施しますが、維持管理には多大な財政負担を要するため、施設の適正規模（配置）を検討し、コスト縮減に向けた取組みを行います。➤ 多くの施設において、利用率が低く、施設使用料収入も少ないため、税金負担割合が高くなっています。施設の稼働日（時間）や利用申請システムを利用者のニーズに合わせるなどの工夫をし、受益者負担の見直しにより収益状況の改善を図ります。➤ スポーツ施設の収益性や事業性を高め、民間の資金やノウハウ等を活用する方策を積極的に検討します。また、施設の維持管理に必要な資金を確保し、サービスを向上させるため、市場代替性があるスポーツ施設の特性を踏まえ、利用者負担と公費負担の適正な割合を検討します。➤ 温水プールについては、これから多額の改修費が見込まれるため、利用率の向上や受益者負担の見直しにより、財務状況の改善を図ります。将来的には、学校施設プールとの共用化についても検討します。➤ 公園テニスコートの管理棟については、機能を維持するために最低限の施設保全を行っていきますが、隣接する総合体育館とテニスコートについて指定管理者による一体的管理を検討します。➤ ヨット艇庫については、2 順目国体開催時の平成 19 年にセーリング艇庫が新設され、大分県セーリング連盟が長期独占利用している現状から、当初の設置目的がすでに失われているため廃止します。

3-13-2 現状分析

① 施設の概要

各種スポーツ活動を行う施設として配置されています。

体育館のようにバレーボールやバドミントンなど複数の競技で使用される施設とは違い、ラグビーや野球、サッカー、弓道など、特定の競技に利用される特性があります。

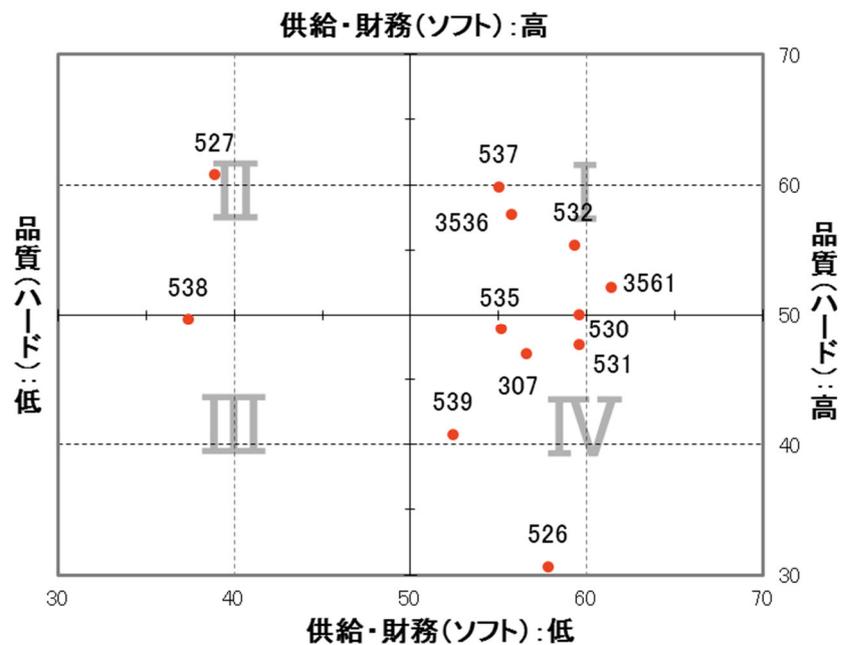
大会開催のためには、必要な施設数の確保や、定められた規格や整備基準などを満たす必要が

あります。弓道場は射距離 28m、アーチェリー場は射距離 60mの規模となっています。延床面積は 656 m²で、的場・更衣室（弓道場のみ）等があります。

② ポートフォリオ分析結果

品質状況については、築年数が 34.0 年である公園テニスコート、および築年数が 39.0 年である実相寺球場は耐震化未対応の施設であるため、偏差値が低く算出されています。

供給・財務状況については、1 日あたり利用者数、および利用者あたり市負担額の指標で算出していますが、利用者数が少ない実相寺多目的グラウンド、実相寺サッカー競技場、ヨット艇庫の偏差値が低く算出されています。



台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質				平均偏差値(ハード)	供給		財務		平均偏差値(ソフト)	判定結果
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率(%)	偏差値		1日あたり利用者数(人/日)	偏差値	利用者あたり市負担額(千円・日/人)	偏差値		
535	弓道場・アーチェリー場	656.0	22.0	55.0	100.0	55.3	55.1	23.0	43.4	-4.1	54.3	48.8	IV
307	実相寺多目的グラウンド	357.0	17.0	57.9	100.0	55.3	56.6	8.2	41.7	453.7	52.2	47.0	IV
526	実相寺サッカー競技場	512.3	13.0	60.3	100.0	55.3	57.8	1.9	41.0	7,704.8	20.2	30.6	IV
527	公園テニスコート	218.0	34.0	47.8	0.0	30.0	38.9	232.1	67.5	73.6	53.9	60.7	II
530	セーリング艇庫	628.5	7.0	63.9	100.0	55.3	59.6	43.5	45.8	0.0	54.2	50.0	I
531	市民球場	1,101.5	7.0	63.9	100.0	55.3	59.6	34.4	44.7	824.8	50.6	47.7	IV
532	青山プール	2,317.3	8.0	63.3	100.0	55.3	59.3	141.2	57.1	145.8	53.6	55.3	I
537	野口原総合運動場	493.4	22.2	54.8	100.0	55.3	55.1	215.4	65.6	66.8	53.9	59.8	I
538	実相寺球場	160.2	39.0	44.8	0.0	30.0	37.4	43.6	45.8	181.9	53.4	49.6	III
539	ヨット艇庫	413.8	31.0	49.6	100.0	55.3	52.5	0.0	40.8			40.8	IV
3536	温水プール	1,214.0	20.0	56.1	100.0	55.3	55.7	180.9	61.6	128.6	53.7	57.7	I
3561	実相寺パークゴルフ場	129.0	1.0	67.5	100.0	55.3	61.4	79.9	50.0	-2.5	54.2	52.1	I

図 44 ポートフォリオ分析（その他スポーツ）

③ 老朽化の状況

築年数が30年以上経過しているのは、公園テニスコート、実相寺球場、ヨット艇庫で、老朽化が進んでいます。その他の施設は比較的新しい施設で構成されています。

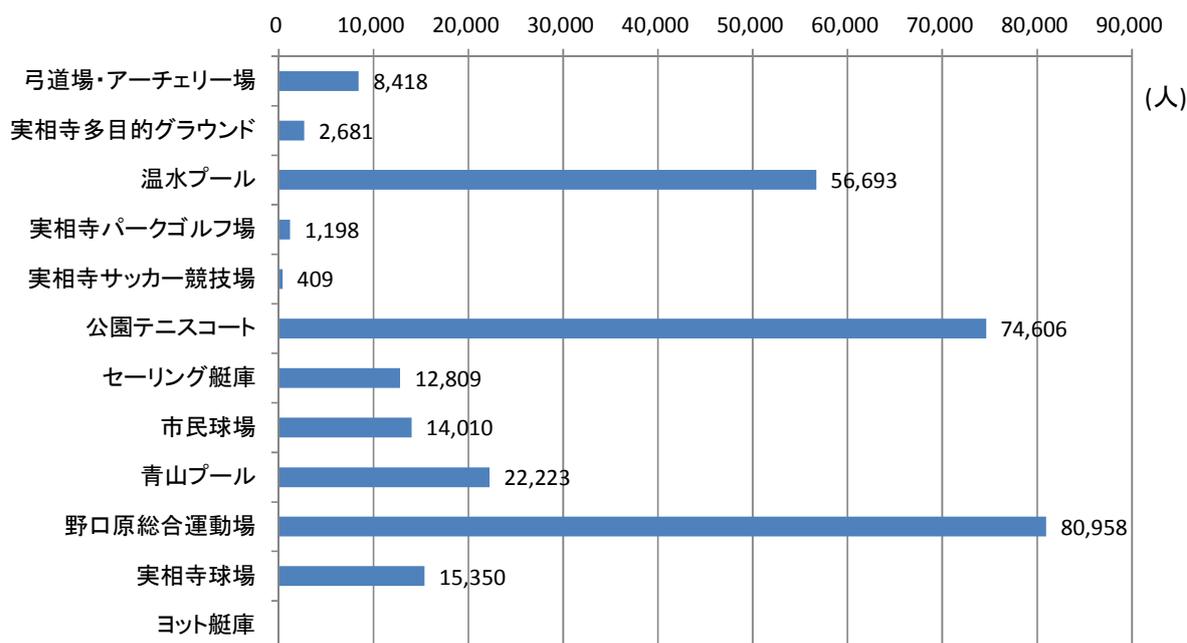
温水プールは建築後20年となっていますが、屋根・天井・照明・配管交換等の大規模改修を行う必要があります。

④ 利用状況・コスト状況

(i)年間利用者数

年間利用者数は、温水プール、公園テニスコート、野口原総合運動場において多くなっています。その他の施設についてはこれらの施設と比較すると少なくなっています。

公園テニスコートを除き、特定の目的で利用する施設は利用者数が少ない傾向にあります。



※ヨット艇庫は利用者数を計測していないため不明
※平成26年度実績に基づいて作成

図 45 各施設の年間利用者数

(ii)運営コスト

弓道場・アーチェリー場の利用者数は、年間8,500人で、1日当たり利用者数は23人です。指定管理者（別府市弓道会）が運営を行っており、収支状況は黒字となっています。

温水プールの利用者は、年間5万7千人で、1日当たり利用者数は184人です。平成26年度の支出4,300万円に対し、利用料金収入が2,700万円ほどあり、税金負担割合は4割弱となっていますが、年度ごとの施設改修の状況によって大きく増減しています。

実相寺多目的グラウンド、実相寺サッカー競技場、公園テニスコート、市民球場、野口原総合運動場、青山プール、温水プール、実相寺球場は、実相寺中央公園及び野口原総合運動場周辺グループとして、非公募により同じ指定管理者（総合振興センター）が一括で管理運営しています。実相寺パークゴルフ場も同様です。